

創作 WS 覗くと絵が見える遠眼鏡を作ろう！を開催しました。

夏休み最後の週末、講師に比治山大学の久保先生をお迎えして、創作 WS「覗くと絵が見える遠眼鏡を作ろう！」を開催しました。

遠眼鏡はずずさんが「冬の記憶」の中で作っていたものです。黒い紙を切り抜いたり穴を開けたりして、それを筒状にして覗くと穴から光が差し込み絵柄が現れるというものです。



まずは先生のお手本を見せて頂きます。
何が見えるでしょうか？



下描きに沿って押しピンなどで穴を開けていきます。穴には適度な大きさが必要であったり、穴を開けるには意外と力があるなどコツがある様でした。



穴を開けた紙を特製の筒に貼りつけます。
貼った後には筒も飾りの絵を描きます。



最後には皆で出来上がったものを見せ合いました。
参加者の皆様、久保先生、ありがとうございました。